

西区

自治協議会

「区自治協議会のあり方検討の方向性について（参考意見聴取）」

回答用紙（案）

(1) 仕組み

検討が必要なもの	選択肢 ※番号に丸を付けてください	補足意見
区民の多様な意見を 生かす組織	① 全市統一の組織（現行どおり） 2. 区の実情に合った組織 3. その他 []	<ul style="list-style-type: none"> 市全体の組織である以上、基本的な仕組みにおいて区ごとに大きな差が生じない方がよい。 一方で、今後一層、各区が抱える諸課題に軸足をおいて対応していくためには、一定の基準を定めた中で、ある程度実情に沿った組織構成を可能とする体制が確保されることが望ましい。 若者をはじめ、多様な世代の意見が反映される仕組みや工夫が求められる。

(2) 役割

検討が必要なもの	選択肢 ※番号に丸を付けてください	補足意見
①意見提出 話し合うテーマをどう するか	① 現行どおり 2. 区のことにと特化する 3. その他 []	<ul style="list-style-type: none"> 課題は多様に幅広く存在しており、区のことを考える際に視野は広く持つべきである。 一方で、区ごとの地域性と実情を踏まえた区のことにと特化した議論の深化が必要である。
②地域代表 行政からの説明、報告 (全市に係るもの)は 今後も必要か	1. 必要（現行どおり） ② 案件によっては必要 3. 不要 4. その他 []	<ul style="list-style-type: none"> 自治協議会として決定し集約を行うものでない案件については、最小限にとどめるべきであるが、市民生活に直結する案件の説明や報告は必要である。 一方で、市全体の動きや課題を理解することも重要で、情報共有の見地からも有効であるため、説明の方法等（資料報告、事前送付時期）に工夫が必要である。
③実施主体 自治協提案事業にどこ まで関わるか	① 現行どおり 2. 企画・立案まで 3. 意見出しまで 4. 提案事業は不要	<ul style="list-style-type: none"> 自治協議会委員自身が執行に関わることに意義があり、事業実施を通じ、直接区民とふれあうことで適切な評価にもつながる。 一方で、地域課題の検討に十分な時間を確保できるよう、効率的な会議運営が求められる。

「協働の要」として引き続き期待するものとしていることについて、どう思いますか

(その他にも自治協のあり方全般に係ることなども記入可)